

トヨタサービスカード誕生！

あなたのトヨタ車に、
安心の1枚。

「私たちとお客様の関係をもっと大切にしたいから」...

そんな願いから、この6月から新たに始動した
全国をカバーするトヨタの情報ネットワーク。

皆様の愛車一台ごとに発行する「トヨタサービスカード」は、

今までにないアフターサービスを

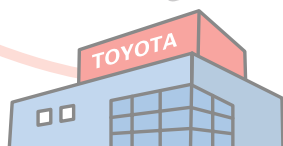
実施するための大切な一枚。

私たち岡山トヨタ各店から、

今皆様にお届けしています。



このたびトヨタ自動車は、全国のトヨタディーラーでのアフターサービスにおけるユーザーサポートをより充実させるために、オールトヨタの「アフターサービス情報」に関するネットワークを6月1日からスタートしました。お客様の、過去の点検や修理の履歴などのデータを「車両情報データベース」として1つに集約することで、転居先や旅先で全国のどのトヨタ系列ディーラーに行った際でも、迅速で的確な整備などが受けられるようにする画期的な情報システムです。



お客様がご使用のトヨタ車1台に1枚、了解をいただいた上で無料発行する「トヨタサービスカード」には、この「車両情報データベース」を参照するためのパスワード番号が記載されており、全国のトヨタディーラーは、お客様に提示いただいた場合、データベースの情報を参照し、最適なサポートを行います。

お応えするスペシャリスト

最近のハイテク機器を搭載した車の普及やユーザーの皆様の価値観の多様化、さらに自動車社会の環境保全に向けた対応の必要性など、自動車整備士にはこれまで以上に高度な技術や幅広い知識のほか、サービスマンとしての豊かな人間性までが求められています。

1級小型自動車整備士

こうした時代を背景に、これまで「幻のライセンス」と言われていた1級小型自動車整備士の国家試験が平成14年度から実施されています。この「超・難関」とも言われる国家試験に、現在、岡山トヨタからは在籍サービススタッフ三名が合格（平成14年度一名・16年度二名）しています。以前に紹介した第一回試験合格の重松敬一に続く二名を今回紹介いたします。

野田店 サービススマネージャー

片岡 正彦



父が単車好きのせいもあつたのか中学の頃からエンジンに興味を覚え、気がついたら自動車整備士を目指していました。自動車短大を経て入社し、国家2級自動車整備士試験に合格。自動車ディーラーのサービスマンにはたいいてい国家資格の他

に、各メーカーが独自に認定した整備士資格取得の必要があり、その後トヨタ3級整備士、また検査員等の資格も順調に取得してきたのですが、国家1級整備士の試験は聞きしに勝る難関でした。

国家2級やトヨタのメーカー整備士試験は、自動車短大の専門カリキュラムや、これまで難関突破に取り組んだ多くの人などの指導やフォローがあり、私などは言わば「他力本願」で合格することができたのですが、初回の国家1級試験は、誰も受けたことがないし、助言等もほとんど受けられないまま多くの自己啓発学習、自動車の構造機能、安全衛生、環境問題などさまざまな分野にわたる教科書や問題集に、私なりに取り組みましたが第一回試験にはあえなく敗退。三年がかりの挑戦で今回ようやく無事念願の資格を手にすることができました。

これを励みに、お客様に「この人に見てほしい」と指名されるような頼りになるエンジニアになることを目指すとともに、若い後進の指導にも全力を尽くしたいと考えています。



また、過去の点検や整備の履歴に基づいて、おクルマごとの使われ方や、状態にあった最適なメンテナンスなども提案。リコールなどの重要な情報提供を迅速・確実に実施するベースともなります。もちろん個人情報の漏えい対策等には暗号化など現時点で最善・万全を期しており、利用停止や情報開示などの請求に適切に対応するため、専用窓口「トヨタサービスカードセンター」を開設しています。

お客様一人ひとりに合った最適なサービスをご提供

おクルマのメンテナンス情報などから、おクルマの状態をスピーディかつ的確に診断。最適なメンテナンス内容をご提案します。



全国のトヨタのお店がしっかりサポート

お引越先や旅先でも、カードをご提示いただければ、日頃ご利用のトヨタのお店でのメンテナンス情報も参照しながら、お客様のクルマをサポートします。



※現在岡山トヨタ各店からお客様にサービスカードの発行をご案内しています。お車でこ来店の際には、皆様の愛車の無料チェックを行いますので、ぜひお気軽にお越しください。

※発行は、トヨタ車に限りです。

プロフェッショナルな仕事で

倉敷店 アドバイザー
塚本 三喜夫



目覚ましい自動車技術の進歩・発展。それと同時に環境問題も叫ばれるようになってきました。これらが1級整備士という、より高度な技術を持ったサービスマン誕生のきっかけとなったのですが、試験を受けて「お客様の声に的確に対応できる能力」も今まで以上に重視されるようになってきているのだと実感しました。

ちなみに1級小型自動車整備士には、

1級小型自動車整備士とはどんな資格？

昭和26年、自動車整備国家資格が法律で定められた時から「1級」についても定められていました。ただ、平成13年度までこの国家資格検定試験が実施されていなかったのです。

それまでは事実上「2級」が最上位資格でしたが、国土交通省は平成14年度に「1級」検定を開始しました。1級小型自動

2級整備士の知識・技術に加え、次の6項目の能力が求められます。

- 1 電子制御装置の高度整備・故障診断技術
- 2 振動・騒音の高度整備・故障診断技術
- 3 新技術(ハイブリッド・CVTなど)
- 4 総合診断(問診・診断・整備計画等)と、整備結果の内容説明
- 5 環境保全
- 6 安全管理

4番目の総合診断問診・診断・整備計画等と、整備結果の内容説明といえ、まさに常時サービスフロントでお客様との対応する私たちアドバイザーの業務そのもの。これまでもなく進めていた日々の仕事を、OJTとしてとらえるなどの自己研鑽に取り組んで、ようやく合格することができました。

今までは1級整備士資格を目指して勉強してきましたが、これからはこの1級整備士の名前に負けないよう、またサービスマンの地位向上のためにも、勉強や業務に取り組んでゆかなければなりません。※OJTとは仕事の現場で業務に必要な知識・技術を習得させる研修

車整備士に求められるのは、高度整備技術に裏付けされた、アドバイザー能力、環境保全、安全管理など、社会の幅広い分野の要請に応えられる技量。

第三回実技試験の行われた今春までに、全国での累計資格保持者は全国で923人。岡山県では14名の合格者がいます。